

宝塚市ふるさと納税寄附金の使い道(令和元年度)

用途	事業名	寄附金充当額	主な使い道	事業の概要	イメージ画像
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	花のみち舗装リニューアル事業	18,600,000円	花のみちの遊歩道部分の舗装リニューアル	宝塚市の玄関口である宝塚駅周辺における、にぎわいのあるまちづくりの実現を目的とし、都市計画道路宝塚歌劇場前線(通称「花のみち」)のリニューアルを行う事業	
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	宝塚魅力体験事業	7,000,000円	宝塚歌劇市民貸切公演	宝塚大劇場において市内在住、在勤、在学者を対象とした貸切公演を実施した。世界的に有名な宝塚歌劇の魅力が市民自ら体感することで、歌劇のまち宝塚へのより深い理解や市内外へのさらなるPRにつなげた。	
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	温泉施設等管理事業(施設修繕)	3,800,000円	市立温泉利用施設修繕	宝塚市の主要な観光資源の一つである「温泉」の各種施設及び設備の適正な維持・管理・運営を行い、持続的な観光振興を目指す。	
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	観光施設維持管理事業(観光案内板の更新)	2,500,000円	観光案内板の更新	文化芸術センターの設置や宝塚ホテルの移転に伴い、宝塚駅周辺の環境が大きく変化することから、現在、設置されている観光案内板(マップ)や各種サインの更新を行った。	
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	観光振興・宣伝事業(パンフレット印刷)	8,600,000円	観光パンフレットリニューアル業務	市内の観光情報発信を目的に配布している「宝塚市観光パンフレット」について、発行から10年以上が経過しているため、時代に合ったデザイン及び表現に内容を刷新し、リニューアルした。日本語版に加え、多言語版(英語、韓国語、簡体字、繁体字)も作成した。	
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	観光振興・宣伝事業(アニメの観光まちづくり事業)	1,500,000円	「宝塚アニメフェスタ2019×ハロウィン」を開催(開催費用のうち、ライトアップ分のみ)	漫画家の手塚治虫さんゆかりの地である本市でアニメに関連したイベントを実施することにより、市内外からの来場者がアニメや漫画文化に親しむ機会を作るとともに、会場となる宝塚駅や宝塚花のみち周辺といった本市観光の中心的なゾーンの賑わいや活気を創出することを目的として「宝塚アニメフェスタ2019×ハロウィン」を開催した。今年度は市の中心部を流れる武庫川を活用した「ウォータープロジェクション」を新たに実施し、歌劇のまち宝塚の魅力向上に努めた。	
1.「歌劇のまち宝塚」の魅力向上に関する事業	文化芸術施設・庭園整備事業	70,400,000円	文化芸術センターの備品購入	2020年度のオープンを目指して、文化芸術センターの工事を進めるとともに必要な備品を購入した。同センターは宝塚歌劇や手塚治虫記念館、宝塚文化創造館などが集積する本市の中心市街地に位置しており、今後、周辺施設と連携しながら、事業を実施していく。	

宝塚市ふるさと納税寄附金の使い道(令和元年度)

用途	事業名	寄附金充当額	主な使い道	事業の概要	イメージ画像
2.手塚治虫記念館を生かしたまちづくりに関する事業	手塚治虫記念館リニューアル事業	13,100,000円	手塚治虫記念館のリニューアル	令和元年度は第2期リニューアルとして主に6階アニメ工房と1階エントランス、アトムビジョンをリニューアルし、平成30年度の第1期リニューアルと合わせて来館者満足度を高める事業を実施した。	
3.子どもたちの健やかな成長に関する事業	小学校運営事業(備品整備)	5,300,000円	学校老朽化改修工事に伴う備品運搬、備品更新等	令和元年度の学校改修工事対象校(売布小外3校)において、工事時に支障となる備品や電話回線などを移設し、工事後に復旧し、学校運営に支障が生じないよう対応を行った。また、工事で撤去される作り付けの棚等について、同様の備品を設置して更新を行った。	
3.子どもたちの健やかな成長に関する事業	小学校運営事業(備品整備)	5,000,000円	学校運営に伴う備品整備等	学校備品のうち、故障や老朽化により更新が必要になったものについて更新を行った。	
3.子どもたちの健やかな成長に関する事業	中学校運営事業(備品整備)	800,000円	学校老朽化改修工事に伴う備品運搬、備品更新等	令和元年度の学校改修工事対象校(御殿山中)において、工事時に支障となる備品や電話回線などを移設し、工事後に復旧し、学校運営に支障が生じないよう対応を行った。また、工事で撤去される作り付けの棚等について、同様の備品を設置して更新を行った。	
3.子どもたちの健やかな成長に関する事業	中学校運営事業(備品整備)	3,200,000円	学校運営に伴う備品整備等	学校備品のうち、故障や老朽化により更新が必要になったものについて更新を行った。	
4.環境にやさしいまちづくりに関する事業	新ごみ処理施設整備事業	9,600,000円	地質調査業務を実施	現在の宝塚市クリーンセンターは既に30年以上が経過しており、施設の老朽化による改修コストの増大化等に対応するため、新ごみ処理施設の整備を行う予定で、令和元年度は地質調査等を実施し、基本設計業務に着手した。	
5.安全で安心して暮らせるまちづくりに関する事業	防災情報伝達事業(防災行政無線、防災ラジオ)	6,800,000円	すみれ防災スピーカー(防災行政無線)の整備	災害時の避難情報や緊急情報をスピーカーを通じて迅速に住民に伝達することができるようになった。日々の点検のため宝塚らしい音楽を鳴らしたり、災害時にはエフエム宝塚のラジオ放送と連携したりすることができるのが特徴である。	

宝塚市ふるさと納税寄附金の使い道(令和元年度)

使途	事業名	寄附金充当額	主な使い道	事業の概要	イメージ画像
6.にぎわいと活力に満ちたまちづくりに関する事業	観光振興・宣伝事業(アニメの観光まちづくり事業)	2,000,000円	「宝塚アニメフェスタ2019×ハロウィン」を開催 (開催費用のうち、ライトアップ以外の分)	漫画家の手塚治虫さんゆかりの地である本市でアニメに関連したイベントを実施することにより、市内外からの来場者がアニメや漫画文化に親しむ機会を作るとともに、会場となる宝塚駅や宝塚花のみち周辺といった本市観光の中心的地の賑わいや活気を創出することを目的として「宝塚アニメフェスタ2019×ハロウィン」を開催した。 イベント当日は、昨年度初めて開催し、大きな反響を呼んだグルメイベントやコスプレパレードのほか、周遊謎解きゲームなど様々な企画を展開した。	
6.にぎわいと活力に満ちたまちづくりに関する事業	文化芸術施設・庭園運営事業	800,000円	文化芸術センターの開設準備	文化芸術センターが2020年度にオープンするにあたって、指定管理者とともにその広報宣伝や機運醸成のためのイベント等を実施した。 同センターは本市の中心市街地に位置し、庭園を有する魅力を活かして、ギャラリーでの展覧会のみならず観光やまちづくりに寄与するイベント等も実施していく。	
7.その他市長が必要と認める事業	中央図書館管理運営事業(図書資料整備)	10,000,000円	図書購入費	蔵書の鮮度を保ち(老朽更新も行う)、利用者の幅広い分野の蔵書に対するニーズに応えるため、質・量の両面から蔵書を整備し、情報収集基地としての機能を持たせ、生涯学習施設としての位置づけを高めるための図書を購入した。	
7.その他市長が必要と認める事業	西図書館管理運営事業	6,700,000円	図書購入費	蔵書の鮮度を保ち(老朽更新も行う)、利用者の幅広い分野の蔵書に対するニーズに応えるため、質・量の両面から蔵書を整備し、情報収集基地としての機能を持たせ、生涯学習施設としての位置づけを高めるための図書を購入した。	